



モルック大会を開催しました

高橋義希さんも参加！

6月25日（日）に鳥栖北小体育館において、地区スポーツ協会主催のモルック大会を開催しました。鳥栖北地区では初めて取り入れたモルックですが、ご年配から子どもまで、誰でも簡単に楽しめるニュースポーツということで、全8チーム、総勢50名弱の参加があり、大変盛り上がりました。6月19日～23日までのスポーツ教室でモルックを体験、練習していた時から「これは楽しい、やってておもしろい」という声もたくさんありましたので、練習でコツを掴んだ方もおられたと思います。



熱戦を制し優勝をしたのは、本鳥栖町Cハーモニーズでした。おめでとうございます。また、参加して下さった皆さん、お疲れ様でした。

まち協役員会を開催しました

7月5日（水）にまち協役員会を開催しました。高齢化により、運転免許証の早期返納をされる方も増えていますが、返納してしまうと鳥栖市内では普段の買い物や通院などに困るというお話をよく耳にします。バスや徒歩では行ける範囲に限られ、出かけることを諦めざるを得ないこともあります。これを何とかできないかということで、外出支援事業について話し合われました。すぐに解決することは難しいですが、鳥栖北まち協の研究課題としています。



▶夏休み子ども教室の参加予定者は、日程や持ってくるものなど、再確認をお願いします！

※参加募集は締め切りました。
夏休み子ども教室
青少年育成会

陶芸教室は
7月27・28日
(低学年) (高学年)

パン作り教室

日程：8月7日（月）
10時～12時

持ってくるもの：参加費(300円)
エプロン・三角巾（学校の給食着でもいいです）・タオル・上靴・
マスク・飲み物

※1～3年生の参加者は、必ず保護者同伴をお願いします

化石教室

日程：8月16日（水）
10時～12時

持ってくるもの：参加費(1000円)
軍手・飲み物・タオル

8月は、同和問題啓発強調月間です。 差別のない明るい社会を ～みんなで築こう人権の世紀～

8月21日（月）13:30～ 「差別をなくす社会システムについて～部落差別解消法と私たちの課題～」
講師：北口 末広 氏（近畿大学人権問題研究所・主任教授） 場所：鳥栖市民文化会館小ホール 入場無料です。

鳥栖地区まちづくり推進協議会が作成した「鳥栖良かところカルタ（通称64カルタ）」に札として登場する鳥栖市の名所や名物を紹介するコーナーです！

鳥栖良かところカルタは、今を知り、昔を学ぶ地域学習の身近な教材として、家族や地域での世代間ふれあい活動の一助として作られたものです。

今回は、「八坂神社・山笠」「茅の輪くぐり」「水影天神社」「鳥栖空襲・頌魂碑」です。



鳥栖良かところカルタ
(通称64カルタ)

八坂神社・山笠

7月22日(土) 23日(日)に鳥栖八坂神社において鳥栖山笠の開式が行われ、六基の山車が市街地を駆け抜けました。昨年は3年ぶりの開催で盛り上がりましたが、今回は制限も解かれた本来の形での山笠ということで、さらに気合いが入っていました。総がぶりや祇園旗廻りなど、夏本番の到来を感じさせました。



ちわ 茅の輪くぐり

8月1日に行われる行事で「夏越しの祓」^{ほらい}があります。これは「夏の名を超えて災厄をはらう」という意味で、鳥栖では六カ所の神社で「茅の輪くぐり」が行われています。

水影天神社もその一つで、「輪くぐり願成就」として前日の7月31日に宮総代や生産組合の方が集まり、直径1.8mほどの茅の輪を作って奉納します。そして当日、神事のあとに地元の人たちが裸足になり、宮司から榊と水でみそぎを受けて身を清め、茅の輪をくぐり社殿を3周まわることで、無病息災を祈願します。



水影天神社

延喜元(901)年、菅原道真が太宰府に配流された時、鳥栖に隠れ住んでいた道真の第5子長寿丸に道真が水影天神社の池に映った自分の姿を描いて、その絵を祀ったと言われています。



鳥栖空襲・頌魂碑

今から78年前の1945年8月11日、鳥栖空襲がありました。死者が115名も出た悲しい事実です。

鳥栖北まちセンでは、鳥栖中の生徒さんと地区の方が一緒に鳥栖空襲を学ぶ「平和学習」を行います。今もなお戦争が繰り返されているからこそ、悲しい事実と向き合って戦争のない世の中を目指します。実際に鳥栖空襲を体験された牛島啓爾さんの描かれた絵手紙と、生のお声で平和について学びます。

